

令和 2 年 1 月 2 4 日
総合政策局公共事業企画調整課

平成 3 0 年度建設副産物実態調査結果（確定値）

平成 3 0 年度に全国の建設工事から排出された建設副産物について、再資源化及び排出量等の調査結果（確定値）をとりまとめましたので公表いたします。

●建設副産物実態調査とは

- ・全国の建設工事や再資源化施設等を対象に、建設副産物の発生量、再資源化状況及び最終処分量等の動向に関する実態を把握するため、概ね 5 年ごとに実施している統計調査です。
- ・調査結果は建設リサイクルに関する諸施策の策定及びその効果の進捗状況の把握等に役立てています。

●調査結果の概要

（1）建設廃棄物

平成 3 0 年度の建設廃棄物の再資源化・縮減率は、約 9 7. 2 %と前回調査（平成 2 4 年度）より 1. 2 ポイント上昇しています。品目別にみると、アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊は横ばいですが、建設発生木材、建設汚泥、建設混合廃棄物は向上しています。

【参考資料 1 - 1 参照】

また、平成 3 0 年度の建設廃棄物の搬出量は、約 7, 4 4 0 万トンとなり、前回調査（平成 2 4 年度）より 約 2. 4 % 増加していますが、最終処分量は約 2 1 2 万トンと前回調査（平成 2 4 年度）より 約 2 6. 9 % 減少しています。

【参考資料 1 - 2 参照】

（2）建設発生土

平成 3 0 年度の建設発生土有効利用率は 約 7 9. 8 %と前回調査（平成 2 4 年度）より 2. 0 ポイント向上しています。

【参考資料 1 - 1 参照】

また、平成 3 0 年度の建設発生土の搬出量は、約 1 3, 2 6 3 万 m³となり、前回調査（平成 2 4 年度）より 約 5. 8 % 減少しています。

【参考資料 1 - 2 参照】

<問い合わせ先>

総合政策局 公共事業企画調整課 インフラ情報・環境企画室 課長補佐 古堅、施工環境係長 宗光

電話：03-5253-8111(代表)、03-5253-8271(直通)、内線：24523、24525

FAX：03-5253-1551